

第 24 回通常総会

2018 年 3 月 13 日（火）

一般社団法人 言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

第 24 回通常総会次第

日時 2018 年 3 月 13 日（火） 12 時 50 分～13 時 30 分

会場 岡山コンベンションセンター 4F405 (4 階 405 会議室)

総会次第

第 1 号報告 2017 年度事業報告

第 1 号議案 2017 年度決算報告

第 2 号報告 2017 年度監査報告

第 3 号報告 2018 年度事業計画

第 4 号報告 2018 年度予算案

第 2 号議案 理事の選任

第 3 号議案 監事の選任

第 5 号報告 2018 年度代議員構成

以上

第1号報告

2017 年度事業報告

1. 概要

言語処理学会の主要活動として、論文誌「自然言語処理」の発行および年次大会の開催を計画通りに進めました。「自然言語処理」に関しては、特集号を含め 5 号を発行しました。第 23 回年次大会は、2017 年 3 月 13 日(月)から 17 日(金)まで、筑波大学で開催しました。

2. 会員現況

正会員	773 名 (-26) (うちシニア会員 16 名)
学生会員	78 名 (0)
賛助会員	20 組織 (+4), 21 口 (+4)
特殊購読会員	38 組織 (0), 46 口 (0)

(2017 年 12 月 31 日現在, 増減は 2016 年 12 月 31 日との比較)

なお, 定款第 11 条 1 項 2 号にもとづき, 会費を 1 年以上滞納した会員 55 名(正会員 37 名(うちシニア会員 0 名), 学生会員 18 名)については, その会員資格を喪失したものと扱います。

3. 会誌の発行

- 24 巻 1 号(2017 年 2 月発行, 通巻 109 号)
巻頭言, 論文 6 編, 会告
- 24 巻 2 号(2017 年 3 月発行, 通巻 110 号)
巻頭言, 論文 4 編, 会告
- 24 巻 3 号(2017 年 6 月発行, 通巻 111 号)
巻頭言, 論文 8 編, 会告
- 24 巻 4 号(2017 年 9 月発行, 通巻 112 号)
巻頭言, 論文 5 編, 会告
- 24 巻 5 号(2017 年 12 月発行, 通巻 113 号)
巻頭言, 論文 4 編, 会告

4. 第 23 回年次大会の開催

- ◇ 開催日: 2017 年 3 月 13 日(月)~3 月 17 日(金)
- ◇ 会場: 筑波大学筑波キャンパス春日エリア(茨城県つくば市)
- ◇ プログラム
 - [チュートリアル講演](4 件) 3 月 13 日
 - 馬場 雪乃 氏(京都大学)
「ヒューマンコンピューテーションとクラウドソーシング」
 - 金山 博 氏(日本 IBM 東京基礎研究所), 田中 貴秋 氏(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
「Universal Dependencies と日本語」
 - 中澤 敏明 氏(JST)
「ゼロから始めるニューラルネット機械翻訳」
 - 西村 義樹 氏(東京大学)
「文法と意味: 認知言語学の視点」
 - [招待講演]
 - 後藤 真孝 氏 (3 月 14 日)
「音楽情報処理の最前線を紹介しつつ言語処理との接点を探る」
 - 山梨 正明 氏(京都大学名誉教授, 関西外国語大学教授) (3 月 16 日)
「認知言語学---言語科学の静かなる革命」

[招待論文講演] (2 件) 3 月 16 日

西川 仁 氏

「自動要約における誤り分析の枠組み」

松崎 拓也 氏, 横野 光 氏, 宮尾 祐介 氏, 川添 愛 氏, 狩野 芳伸 氏, 加納 隼人 氏,
佐藤 理史 氏, 東中 竜一郎 氏, 杉山 弘晃 氏, 磯崎 秀樹 氏, 菊井 玄一郎 氏,
堂坂 浩二 氏, 平 博順 氏,

「『ロボットは東大に入れるか』プロジェクト:代ゼミセンター模試タスクにおけるエラーの分析」

[一般発表 口頭発表] 3 月 14 日～16 日 発表件数 125 件

[一般発表 ポスター発表] 3 月 14 日～16 日 発表件数 145 件

[一般発表 テーマセッション発表] 発表件数 31 件

「言語教育と言語処理の接点」

「語義タグの付与とその利用」

「翻訳の質と効率:実社会におけるニーズと工学的実現可能性」

[併設特別ワークショップ] 3 月 17 日

「言語処理の応用」

学会の一般社団法人化後, 2 回目の大会となりました. プログラム編成では, ここ数年間のものを踏襲しています. オープニングセッションおよびクロージングセッションの実施, 学会論文賞受賞者による招待論文講演, 大会賞の事前選考と大会クロージングセッションでの表彰は, 年次大会のスタイルとして定着したと考えています. 一方, 細部については, これまでの伝統や大会関係者の意気込みを少しでも多く汲み取れるよう, 「最新の情報が得られる年次大会」, 「いろいろな人と交流できる年次大会」の2つをポイントに構成を決めました.

◇ 年次大会優秀賞・若手奨励賞

大会前に選考を行い, 大会期間中に表彰する形式を踏襲しています. 全ての一般発表論文(301 件)を対象に審査を行い, 大会賞を選定しました. 選考は, 全論文に対する計 137 名の選考委員による 1 次選考と, そこで絞り込まれた優秀賞候補 13 件, 若手奨励賞候補 15 件(うち 4 件が優秀賞候補を兼ねる)に対する 8 名の最終選考委員による最終選考の二段階で行いました. その結果, 以下の通り最優秀賞 2 件, 優秀賞 4 件, 若手奨励賞 4 件を授賞することとしました. なお, 今回, 言語資源協会と協力し, 言語資源賞という新しい賞を設けています.

第 23 回言語処理学会年次大会優秀賞

■最優秀賞 (2 件)

B3-2 単語出現頻度予測機能付き RNN エンコーダデコーダモデル

○鈴木潤, 永田昌明 (NTT)

P18-3 ニューラル機械翻訳での訳抜けした内容の検出

○後藤功雄, 田中英輝 (NHK)

■優秀賞 (4 件)

B2-2 Skip-gram Model with Negative Sampling のオンライン逐次学習

○鍛冶伸裕, 小林隼人 (ヤフー)

C2-2 係り受け構造との同時予測による A* CCG 解析

○吉川将司, 能地宏, 松本裕治 (NAIST)

B4-5 ニューラルネットワークによる日本語述語項構造解析の素性の汎化

○松林優一郎, 乾健太郎 (東北大)

C6-4 外来語の意味変化に対する数理的解析

○高村大也 (東工大), 永田亮 (甲南大), 川崎義史 (上智大)

第 23 回言語処理学会年次大会若手奨励賞 (4 件)

C2-1 依存構造解析のための内容語と機能語の多言語可逆変換

小比田涼介(NAIST)

P15-6 英語学習者の文法誤りパターンと正誤情報を考慮した単語分散表現学習

金子正弘(首都大)

D5-2 文書全体を考慮したニューラル文間ゼロ照応解析モデル
大内啓樹(NAIST)
B7-1 時系列数値データからの概況テキストの自動生成
村上聡一郎(東工大/産総研)

◇ まとめ

大会では 301 件の研究発表がありました。口頭発表とポスター発表とがほぼ同数のバランスのとれた内容でした。参加者は、事前受付 720 名、当日受付 189 名、招待者 9 名の計 918 名と、歴代最多となり、各セッションとも活気にあふれる大会となりました。

歴代最多という参加者に対応するため、会場も、口頭発表で使われる教室の机を一部撤去しシアター形式にして座席数を増やすなどの工夫をこらしました。それでも立ち見がでてしまったのは残念です。招待講演等が行われた春日講堂はゆとりのある心地よいものでした。ポスター会場も混雑していたことは間違いありませんが、発表や議論に支障をきたすほどではなく、大会の活気そのものの心地よさであったと感じています。

会計的には、歴代最多の参加者に支えられ、一部の参加費を見直したこともあって参加費収入の増加があり、あわせて昨年度を更に大きく上回るスポンサー様からのご支援によって、収入は大きく増加しました。支出は、筑波大学との共催により会場を無料で使用させていただいたこと等で、抑えることができました。このため今回も黒字決算となっています。

今後も、学会会員にとってより有効な情報交換の場となるように、必要な改善をおこない、年次大会をますます発展させていきたいと考えています。今回、更なる改善のための試みとして、「年次大会の活性化案検討会」を行いました。そこでの議論は次回の年次大会に反映させたいと考えています。

5. ニュースレターの発行

2017 年には、ニュースレター Vol.24 No.1 - No.3 の 3 号を発行し、学会運営、大会案内、大会優秀賞、論文賞、COLING2016 などについて会員の皆さまへの情報提供を行いました。これらのバックナンバーは、学会ホームページでも公開しています。

6. 理事会の開催

計 6 回の理事会を開催し、入退会会員の承認、事業計画、予算、論文賞選考、年次大会の方針、年次大会優秀賞、関連学会等への協賛、シニア会員制度の導入、プライバシーポリシーの制定等について審議し決定しました。また、会費納入や学会誌作成、ニュースレター発行、企業向けイベントの検討等の学会運営についても議論しました。

理事会開催:

- 第 114 回 (2017 年 1 月 30 日, 国立情報学研究所)
- 第 115 回 (2017 年 3 月 13 日, 筑波大学)
- 第 116 回 (2017 年 5 月 31 日, 国立情報学研究所)
- 第 117 回 (2017 年 7 月 24 日, 国立情報学研究所)
- 第 118 回 (2017 年 9 月 15 日, 国立情報学研究所)
- 第 119 回 (2017 年 11 月 1 日, 国立情報学研究所)

7. 編集委員会

◇編集委員会の会議

2017 年は、実際に顔を合わせる編集委員会を 2 回開催したほか、随時、メール審議の形式で編集委員会を開催し、採否決定の一層の迅速化に努めました。

編集委員会開催:

- 第 96 回 (2017 年 3 月 15 日, 筑波大学)
- 第 97 回 (2017 年 9 月 25 日, 国立情報学研究所)

◇英文校正サービスとコーパス化

2017 年度の掲載論文について、13 件の論文のタイトルと概要の英文校正ならびに 6 件の英文論文の本文の英文校正を実施しました。また、多数の著者の協力を得て、校正前の英文と校正後の英文を「言語処理学会英文校正コーパス」として管理し、会員の求めに応じて提供しています。

◇英文論文アーカイブ(IMT)への論文掲載

情報関連学会による国際的な電子ジャーナルとしての IMT (Information and Media Technologies) の第 12 巻に英語論文 8 件を提供しました。

◇2017 年度論文賞の選考

2017 年に出版された自然言語処理 24 巻 1 号から 5 号に掲載された論文 27 編から相応しい論文を推薦することを目標として、乾健太郎副編集長が論文賞一次選考委員長、論文賞最終選考委員長を務め、それぞれ編集委員を選考委員とする選考委員会(一次選考は 33 名、最終選考は 10 名)を編成して選考を実施し、下記の論文を選定しました。

(論文賞)

タイトル: 音声対話ロボットのための傾聴システムの開発
著者: 下岡和也・徳久良子・吉村貴克・星野博之・渡部生聖
発行巻号頁: Vol.24 No.1, pp.3-47

(論文賞)

タイトル: 多様性の導入による推薦システムにおけるユーザ体験向上の試み
著者: 関 喜史・福島良典・吉田宏司・松尾 豊
発行巻号頁: Vol.24 No.1, pp.95-115

(論文賞)

タイトル: Phrase Structure Annotation and Parsing for Learner English
著者: Keisuke Sakaguchi and Ryo Nagata
発行巻号頁: Vol.24 No.3, pp.491-514

(最優秀論文賞)

タイトル: 大規模コーパスに基づく日本語二重目的語構文の基本語順の分析
著者: 笹野 遼平・奥村 学
発行巻号頁: Vol.24 No.5, pp.687-703

◇自然言語処理の電子化

創刊号から 2008 年度までの本誌の全件が, JST の電子アーカイブ事業により無償で電子化され JST のサイト Journal@rchive で公開されています。また, 2009 年度以降の本誌も, 上記 Journal@rchive と一体的に運営されている J-STAGE で公開されており, 新規に出版されたものは三ヶ月後に電子化され公開されます。すなわち, 現在, 創刊号から, 紙媒体で出版後三ヶ月経過した号まで, 常時, 電子的に閲覧可能となっています。

◇論文掲載数および投稿数

2017 年は, 通常号 4 号の発行に加えて, 「言語処理の応用システム」(Vol.24 No.1)を出版し, 総計 27 編の論文を刊行しました。「自然言語処理」への 2017 年の通常論文投稿数は, 昨年 2016 年と同数の 24 編でした。

8. 助成, 協賛, 後援

以下の会議への助成, 協賛, 後援を行いました。

- (1) 第 8 回産業日本語研究会・シンポジウム (後援)

丸ビルホール 2017 年 3 月 8 日

- (2) SIGIR 2017 (助成)

京王プラザホテル 2017 年 8 月 7~11 日

- (3) NLP 若手の会(YANS) 第 12 回シンポジウム(助成)

沖縄かりゆしアーバンリゾート 2017 年 9 月 3~5 日

- (4) MT Summit XVI (後援)

名古屋大学 2017 年 9 月 18~22 日

- (5) 日本音響学会第 159 回技術講習会「Praat による音声分析・音声加工・知覚実験の実施法」(協賛)

全国家電会館 2017 年 11 月 9~10 日

- (6) 人工知能学会 合同研究会 2017 (協賛)
慶應義塾大学 2017 年 11 月 24 日～25 日
- (7) IDR ユーザフォーラム 2017 (後援)
国立情報学研究所 2017 年 12 月 4 日
- (8) 第 14 回ロボット聴覚システム HARK 講習会, 第 4 回 HARK ハッカソン (協賛)
早稲田大学 2017 年 12 月 5～6 日
- (9) IWSLT 2017 (協賛)
早稲田大学 2017 年 12 月 14～15 日

9. その他

学会出版企画として, 近代科学社より「実践・自然言語処理シリーズ」全 10 巻の刊行を開始し, 第 1 巻『言語処理システムを作る』を出版しました.

シニア会員制度を導入しました. これにより, シニア会員となる要件を満たし, 期日までに希望を提出した場合には, 翌会計年度から年会費の減免を受けられることになりました.

他にも以下の活動がありました.

- ・ 平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰に, 本学会から推薦した黒橋禎夫氏, 河原大輔氏(京都大学)が選ばれました.
- ・ プライバシーポリシーを制定しました.
- ・ 代議員選挙を実施し, 代議員の半数を改選しました.

第1号議案

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2017年 1月 1日から2017年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[7,590,000]	[8,008,000]	[-418,000]	
正会員受取会費	(6,008,000)	(6,240,000)	(-232,000)	
正会員当年度	5,888,000	6,112,000	-224,000	@8,000円×764名
正会員過年度	120,000	128,000	-8,000	@8,000円×16名
学生会員受取会費	(272,000)	(308,000)	(-36,000)	
学生会員当年度	264,000	300,000	-36,000	@4,000円×75名
学生会員過年度	8,000	8,000	0	@4,000円×2名
賛助会員受取会費	(850,000)	(1,000,000)	(-150,000)	
賛助会員当年度	850,000	1,000,000	-150,000	1口50,000円×20口
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(460,000)	(460,000)	(0)	
特殊購読会員当年度	460,000	460,000	0	@10,000円×46口
特殊購読会員過年度	0	0	0	
事業収益	[12,224,000]	[17,882,000]	[-5,658,000]	
学術研究事業(年次大会)	(9,999,000)	(15,264,000)	(-5,265,000)	
年次大会参加費	5,515,000	7,304,000	-1,789,000	
年次大会懇親会費	1,084,000	1,210,000	-126,000	
年次大会協賛・広告	3,400,000	6,750,000	-3,350,000	
年次大会助成・補助	0	0	0	
年次大会収益	0	0	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,225,000)	(2,618,000)	(-393,000)	
論文誌広告料	100,000	160,000	-60,000	
別刷代	2,125,000	2,455,000	-330,000	23巻5号～24巻4号
雑誌頒布収益	0	3,000	-3,000	バックナンバー売り上げ
雑収益	[1,500]	[41,383]	[-39,883]	
受取利息	1,500	181	1,319	
雑収益	0	41,202	-41,202	印税
経常収益計	19,815,500	25,931,383	-6,115,883	
(2) 経常費用				
事業費	[13,485,281]	[15,733,303]	[-2,248,022]	
年次大会開催費	(7,035,281)	(8,176,243)	(-1,140,962)	
年次大会運営サポート費	1,305,374	1,732,687	-427,313	NLP2017(後期分)、NLP2018(1～2期分)
受付代行費	1,058,587	1,151,632	-93,045	参加登録システム等
資料作成費(印刷費)	410,000	433,210	-23,210	プログラム冊子
コンファレンスバック代	190,000	210,600	-20,600	
プログラム委員会費	408,000	415,644	-7,644	旅費、Web・発表申込システム関連費等
年次大会会場費	786,120	464,330	321,790	施設利用、看板、休憩室備品等
年次大会人件費	800,000	1,009,625	-209,625	学生アルバイト
年次大会講師謝金等	300,000	304,128	-4,128	
論文賞招待旅費	100,000	28,170	71,830	
代議員会等会議費	140,000	161,530	-21,530	代議員会、スポンサー朝食会
表彰関係費	230,000	223,372	6,628	賞状、賞金
年次大会懇親会費	1,297,200	1,984,217	-687,017	
実施委員会費	0	38,500	-38,500	
年次大会雑費	10,000	18,598	-8,598	
普及啓発事業	(6,450,000)	(7,557,060)	(-1,107,060)	
論文誌印刷費	2,500,000	3,020,283	-520,283	24巻1号～24巻5号
論文誌通信運搬費	700,000	717,866	-17,866	24巻1号～24巻5号
論文誌編集費	1,500,000	1,555,632	-55,632	24巻1号～24巻5号
論文誌電子化費用	110,000	122,580	-12,580	24巻1号～24巻5号
編集委員会費	390,000	240,623	149,377	会合費、旅費、他
編集事務局費	490,000	519,308	-29,308	編集事務局給与・旅費(2016.12～2017.11)
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	205,777	4,223	
論文誌活性化支援	200,000	393,030	-193,030	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	150,000	110,112	39,888	賞状、賞状ホルダー、賞金
若手研究者等の支援	100,000	200,000	-100,000	後援、協賛等
国際会議開催費	0	343,545	-343,545	
普及啓発事業雑費	100,000	128,304	-28,304	IMT分担金等
管理費	[3,600,800]	[3,380,235]	[220,565]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	120,000	157,566	-37,566	
総務事務局費	(100,000)	(57,789)	(42,211)	総務事務局給与・旅費(2016.12～2017.11)
業務委託費	(2,570,800)	(2,559,600)	(11,200)	
学会事務委託費	2,170,800	2,170,800	0	中西印刷(株)委託費
税理士報酬	400,000	388,800	11,200	顧問料、年末法定調書類、決算書類の作成業務
司法書士報酬	0	0	0	
会費集金費	(400,000)	(395,356)	(4,644)	封筒代含む
通信運搬費	(100,000)	(24,113)	(75,887)	
租税公課	(70,000)	(70,000)	(0)	法人市民税・住民税
振込手数料	(40,000)	(37,522)	(2,478)	
HP関連経費	(50,000)	(71,281)	(-21,281)	
雑費	(150,000)	(7,008)	(142,992)	総会資料データ作成費、労災保険
経常費用計	17,086,081	19,113,538	-2,027,457	
当期経常収支差額	2,729,419	6,817,845	-4,088,426	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	2,729,419	6,817,845	-4,088,426	
一般正味財産期首残高	19,255,333	38,237,402	-18,982,069	
一般正味財産期末残高	21,984,752	45,055,247	-23,070,495	

貸借対照表

2017年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	50,934,142
未収金	0
前払金	294,903
資産合計	51,229,045
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	1,497,798
前受金	50,000
前受会費	4,626,000
負債合計	6,173,798
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	45,055,247
正味財産合計	45,055,247
負債及び正味財産合計	51,229,045

財産目録

2017年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管 銀行預金 ゆうちょ振替口座 みずほ銀行 ゆうちょ総合口座	運転資金として	34,768 50,899,374 19,820,141 23,542,521 7,536,712 0
未収金 前払金			294,903
資産合計			51,229,045
(流動負債)			
未払金 前受金 前受会費 前受正会員 前受学生会員 前受賛助会費 前受正会員(シニア)会費			1,497,798 50,000 4,626,000 3,824,000 92,000 650,000 60,000
負債合計			6,173,798
正味財産			45,055,247

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書として記載すべき事項はありません。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2017年 1月 1日から2017年12月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	備考
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	[8,008,000]	
正会員受取会費	(6,240,000)	
正会員当年度	6,112,000	@8,000円×764名
正会員過年度	128,000	@8,000円×16名
学生会員受取会費	(308,000)	
学生会員当年度	300,000	@4,000円×75名
学生会員過年度	8,000	@4,000円×2名
賛助会員受取会費	(1,000,000)	
賛助会員当年度	1,000,000	1口50,000円×20口
賛助会員過年度	0	
特殊購読会員受取会費	(460,000)	
	460,000	@10,000円×46口
事業収益	[17,882,000]	
学術研究事業(年次大会)	(15,264,000)	
年次大会参加費	7,304,000	
年次大会懇親会費	1,210,000	
年次大会協賛・広告	6,750,000	
年次大会助成・補助	0	
年次大会収益	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,618,000)	
論文誌広告料	160,000	
別刷代	2,455,000	23巻5号～24巻4号
雑誌頒布収益	3,000	バックナンバー売り上げ
雑収益	[41,383]	
受取利息	181	
雑収益	41,202	印税
経常収益計	25,931,383	
(2) 経常費用		
事業費	[15,733,303]	
年次大会開催費	(8,176,243)	
年次大会運営サポート費	1,732,687	NLP2017(後期分)、NLP2018(1～2期分)
受付代行費	1,151,632	参加登録システム等
資料作成費(印刷費)	433,210	プログラム冊子
コンファレンスバック代	210,600	
プログラム委員会費	415,644	旅費、Web・発表申込システム関連費等
年次大会会場費	464,330	施設利用、看板、休憩室備品等
年次大会人件費	1,009,625	学生アルバイト
年次大会講師謝金等	304,128	
論文賞招待旅費	28,170	
代議員会等会議費	161,530	代議員会、スポンサー朝食会
表彰関係費	223,372	賞状、賞金
年次大会懇親会費	1,984,217	
実施委員会費	38,500	
年次大会雑費	18,598	
普及啓発事業	(7,557,060)	
論文誌印刷費	3,020,283	24巻1号～24巻5号
論文誌通信運搬費	717,866	24巻1号～24巻5号
論文誌編集費	1,555,632	24巻1号～24巻5号
論文誌電子化費用	122,580	24巻1号～24巻5号
編集委員会費	240,623	会合費、旅費、他
編集事務局費	519,308	編集事務局給与・旅費(2016.12～2017.11)
特殊購読・雑誌頒布経費	205,777	
論文誌活性化支援	393,030	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	110,112	賞状、賞状ホルダー、賞金
若手研究者等の支援	200,000	後援、協賛等
国際会議開催費	343,545	
普及啓発事業雑費	128,304	IMT分担金等

(単位:円)

科 目	決算額	備考
管理費	[3,380,235]	
法人設立費用	0	
代議員選挙費用	157,566	
総務事務局費	(57,789)	総務事務局給与・旅費 (2016.12~2017.11)
業務委託費	(2,559,600)	
学会事務委託費	2,170,800	中西印刷(株)委託費
税理士報酬	388,800	顧問料、年末法定調書類、決算書類の作成業務
司法書士報酬	0	
会費集金費	(395,356)	封筒代含む
通信運搬費	(24,113)	
租税公課	(70,000)	法人市民税・住民税
振込手数料	(37,522)	
HP関連経費	(71,281)	
雑費	(7,008)	総会資料データ作成費、労災保険
経常費用計	19,113,538	
当期経常収支差額	6,817,845	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外収支差額	0	
当期一般正味財産増減額	6,817,845	
一般正味財産期首残高	38,237,402	
一般正味財産期末残高	45,055,247	

●上記の通り報告いたします。

一般社団法人言語処理学会財務理事

永田昌明



一般社団法人言語処理学会財務理事

落谷亮



●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

一般社団法人言語処理学会 監事

赤峰亨



一般社団法人言語処理学会 監事

江原暉将



2018年 2 月 15 日

監査報告書

2018 年 2 月 15 日

一般社団法人 言語処理学会

会 長 徳 永 健 伸 殿

一般社団法人 言語処理学会

監 事 赤 峯 亨 

監 事 江 原 暉 将 

私たちは2017年1月1日から2017年12月31日までの2017年度における
一般社団法人言語処理学会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査
手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会への出席、理事からの報告の聴取、関係書類の
閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、
法人の財政状況を正しくしめしているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上

第3号報告

2018 年度事業計画

1. 運営・活動方針

2018 年度もこれまで通り、論文誌「自然言語処理」の発行と年次大会の開催を中心に、言語処理学会の設立の目的に沿った運営・活動を進めます。

本年度の新規施策としては、若手研究者による研究発表支援策として、COLING 2018 学生参加旅費支援を実施します。また、自然言語処理技術の普及に向けたイベントの開催を予定しています。

2. 会誌の発行

- ・ 第 25 巻第 1 号 (2018 年 2 月中旬発行予定, 通巻 114 号)
 - ・ 第 25 巻第 2 号 (2018 年 3 月中旬発行予定, 通巻 115 号)
 - ・ 第 25 巻第 3 号 (2018 年 6 月中旬発行予定, 通巻 116 号)
 - ・ 第 25 巻第 4 号 (2018 年 9 月中旬発行予定, 通巻 117 号)
 - ・ 第 25 巻第 5 号 (2018 年 12 月中旬発行予定, 通巻 118 号)
- 第 1 号は「言語処理の応用システム」特集号となります。

なお, 2018 年 1 月 22 日より同期式査読に移行し, すべての通常号の編集を予め設定したスケジュールに従って行います。これにより「〇月〇日までに投稿すれば△月△日までに必ず採否が決まる」というように日程が保証され, 投稿計画が立てやすくなります。

3. 第 24 回年次大会の開催

日時: 2018 年 3 月 12 日(月)～ 3 月 16 日(金)

会場: 岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)

3 月 12 日(月)

若手企画「学生向けキャリアビジョン講座」

チュートリアル

スポンサーイブニング

3 月 13 日(火)本会議 第 1 日

オープニング

招待講演

3 月 14 日(水)本会議 第 2 日

特別企画

懇親会

3 月 15 日(木)本会議 第 3 日

招待講演

招待論文

クロージング

3 月 16 日(金) ワークショップ

ワークショップ1「形態素解析の今とこれから」

ワークショップ2「言語処理研究者・技術者の育成と未来への連携」

4. ニュースレターの発行

原則として, 前年と同様の回数と内容で発行予定です。学会のメーリングリストを通じて配布します。これらは, 学会のホームページにバックナンバーとして公開します。

5. 会議

◇社員総会

2018 年 3 月の年次大会に併せて, 2018 年度社員総会を開催します。予算・決算, 学会全体の活動の活性化に向けた施策, 関連する研究分野との交流の促進などについて審議, 承認します。

◇理事会

昨年度同様に 6 回程度開催します。論文等の電子的公開, 年次大会の開催, 他学会との連携などについて

審議します。

◇編集委員会

編集委員会は、メールによる審議をベースとし、これまで通りの効率的な運営に努めます。会誌をより活性化し、会員にとってさらに魅力的なものとするために、論文の投稿促進施策や、新たなコンテンツの企画などを継続的に検討します。

6. その他

学会出版企画の「実践・自然言語処理シリーズ」(全 10 巻)の刊行を継続します。

自然言語処理に関わる事業をしている企業とアカデミアの研究者の交流を活性化し、日本の自然言語処理技術の発展を図ることを目的として、産業界向けのイベントを開催します。

第4号報告

一般社団法人言語処理学会 予算書

決算予測:2017年1月1日から2017年12月31日まで (12月13日時点)

科 目	2017予算額	2017決算予測(通年)	2018予算額	備考
(1) 経常収益				
受取会費	[7,590,000]	[7,908,000]	[7,832,000]	
正会員受取会費	(6,008,000)	(6,240,000)	(6,164,000)	8,000円×747名(2017年度762名-15名) @8,000円×16名(2017年度16名) @4,000円×15名(2017年度申請済15名)
正会員当年度	588,000	6,112,000	5,976,000	
正会員過年度	120,000	128,000	128,000	
正会員(シニア)当年度			60,000	
正会員(シニア)過年度			0	
学生会員受取会費	(272,000)	(308,000)	(308,000)	@4,000円×75名(2017年度75名) @4,000円×2名(2017年度2名)
学生会員当年度	264,000	300,000	300,000	
学生会員過年度	8,000	8,000	8,000	
賛助会員受取会費	(850,000)	(900,000)	(900,000)	1口50,000円×18口(2017年度17口)
賛助会員当年度	850,000	900,000	900,000	
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(460,000)	(460,000)	(460,000)	10,000円×46件(2017年度46件)
特殊購読会員当年度	460,000	460,000	460,000	
事業収益	[12,224,000]	[17,902,000]	[19,755,000]	
学術研究事業(年次大会)	(9,999,000)	(15,264,000)	(16,400,000)	
年次大会参加費	5,515,000	7,304,000	6,990,000	
年次大会懇親会費	1,084,000	1,210,000	1,010,000	
年次大会協賛・広告	3,400,000	6,750,000	7,100,000	
年次大会助成・補助	0	0	1,300,000	最高額想定(大会125万円+託児助成5万円)
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(2,225,000)	(2,638,000)	(3,355,000)	
論文誌広告料	100,000	180,000	180,000	2017年実績から予測
別刷代	2,125,000	2,455,000	2,455,000	2017年実績から予測
雑誌頒布収益	0	3,000	0	
産業界向けイベント参加費	0	0	720,000	2018年秋開催予定
受取補助金等				
雑収益	[1,500]	[41,475]	[1,500]	
受取利息	1,500	273	1,500	
雑収益	0	41,202	0	
経常収益計	19,815,500	25,851,475	27,588,500	
(2) 経常費用				
事業費	[13,485,281]	[15,905,136]	[27,441,169]	
年次大会開催費	(7,035,281)	(8,176,243)	(13,898,884)	2017年実績から予測
年次大会運営サポート費	1,305,374	1,732,687	1,732,687	
受付代行費	1,058,587	1,151,632	1,143,240	
資料作成費(印刷費)	410,000	433,210	423,900	見積額を反映
コンファレンスパック代	190,000	210,600	200,000	
プログラム委員会費	408,000	415,644	571,721	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	786,120	464,330	5,649,336	
年次大会人件費	800,000	1,009,625	800,000	
年次大会講師謝金等	300,000	304,128	350,000	
論文賞招待旅費	100,000	28,170	50,000	
代議員会等会議費	140,000	161,530	672,000	代議員会、スポンサー(朝食会、イブニング)
表彰関係費	230,000	223,372	225,000	優秀賞・奨励賞の賞金+賞状等
年次大会懇親会費	1,297,200	1,984,217	1,530,000	
実施委員会費	0	38,500	0	
託児委託費			541,000	10人分
年次大会雑費	10,000	18,598	10,000	
普及啓発事業	(6,450,000)	(7,728,893)	(13,542,285)	
論文誌印刷費	2,500,000	3,347,069	3,347,069	2017年実績から予測
論文誌通信運搬費	700,000	705,268	705,268	2017年実績から予測
論文誌編集費	1,500,000	1,785,240	1,785,240	2017年実績から予測
論文誌電子化費用	110,000	125,820	125,820	2017年実績から予測
編集委員会費	390,000	144,747	390,000	会合費、旅費、他
編集事務局費	490,000	265,900	1,500,000	編集事務局給与
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	205,778	210,000	
論文誌活性化支援	200,000	393,030	408,888	英文校正等の国際化支援 実績予測
表彰関係費	150,000	110,112	150,000	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	200,000	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	343,545	0	2016年度未収金と2017年度確定額の差額
国際会議参加支援費			4,000,000	COLING2016寄付金の活用
産業界向けイベント開催費	0	0	720,000	
普及啓発事業雑費	100,000	102,384	100,000	IMT分担金等、弁護士相談料
管理費	[3,600,800]	[3,374,241]	[3,702,800]	
法人設立費用	(0)	(0)	(0)	
代議員選挙費用	(120,000)	(128,952)	(0)	新設:2017年度以降、2年ごとに必要
業務委託費	(2,670,800)	(2,635,959)	(2,892,800)	
学会事務委託費	2,170,800	2,170,800	2,170,800	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	100,000	76,359	222,000	総務事務局委託費
税理士報酬	400,000	388,800	400,000	
司法書士報酬	0	0	100,000	理事変更の登記、約10万円、2年ごとに必要
会費集金費	(400,000)	(397,266)	(400,000)	封筒代5万円を含む
通信運搬費	(100,000)	(26,253)	(100,000)	
租税公課	(70,000)	(70,000)	(70,000)	法人市民税5万円・法人府民税2万円
振込手数料	(40,000)	(37,522)	(40,000)	
HP関連経費	(50,000)	(71,281)	(50,000)	
雑費	(150,000)	(7,008)	(150,000)	理事会旅費など
経常費用計	17,086,081	19,279,377	31,143,969	
当期経常収支差額	2,729,419	6,572,098	-3,555,469	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0		0	
経常外収益計	0		0	
(2) 経常外費用	0		0	
経常外費用計	0		0	
当期経常外収支差額	0		0	
当期一般正味財産増減額	2,729,419	6,572,098	-3,555,469	
一般正味財産期首残高	19,255,333	38,237,402	44,809,500	
一般正味財産期末残高	21,984,752	44,809,500	41,254,031	

第2号議案

新任理事候補者

本総会終結の時をもって理事全員が退任となりますので、理事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
理事	佐藤 理史	名古屋大学
理事	奥村 学	東京工業大学
理事	乾 健太郎	東北大学
理事	黒橋 禎夫	京都大学
理事	宮尾 祐介	国立情報学研究所
理事	中野 幹生	HRI-JP
理事	山本 和英	長岡技術科学大学
理事	金山 博	日本アイ・ビー・エム株式会社
理事	新納 浩幸	茨城大学
理事	荻野 紫穂	武蔵大学
理事	荒牧 英治	奈良先端科学技術大学院大学
理事	落谷 亮	富士通研究所
理事	山下 達雄	ヤフー株式会社
理事	鶴岡 慶雅	東京大学
理事	駒谷 和範	大阪大学
		(以上 15 名)

第3号議案

新任監事候補者

本総会終結の時をもって監事全員が退任となりますので、監事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
監事	永田 昌明	日本電信電話株式会社
監事	田中 英輝	NHK 放送技術研究所
		(以上2名)

2018 年度役員構成予定

役員名	氏名	所属
理事(会長)	佐藤 理史	名古屋大学
理事(副会長)	奥村 学	東京工業大学
理事(編集委員長)	乾 健太郎	東北大学
理事(編集担当)	黒橋 禎夫	京都大学
理事(編集担当)	宮尾 祐介	国立情報学研究所
理事(事業担当)	中野 幹生	HRI-JP
理事(事業担当)	山本 和英	長岡技術科学大学
理事(事業担当)	金山 博	日本アイ・ビー・エム株式会社
理事(事業担当)	新納 浩幸	茨城大学
理事(渉外担当)	荻野 紫穂	武蔵大学
理事(渉外担当)	荒牧 英治	奈良先端科学技術大学院大学
理事(財務担当)	落谷 亮	富士通研究所
理事(財務担当)	山下 達雄	ヤフー株式会社
理事(総務担当)	鶴岡 慶雅	東京大学
理事(総務担当)	駒谷 和範	大阪大学
		(以上 15 名)
監事	永田 昌明	日本電信電話株式会社
監事	田中 英輝	NHK 放送技術研究所
		(以上 2 名)

会誌編集委員会 2018－2019 年度		
編集委員長	乾 健太郎	東北大学
副編集委員長	黒橋 禎夫	京都大学

第5号報告

2018 年度代議員構成

2016－2019 年度代議員		2018－2021 年度代議員	
阿辺川 武	国立情報学研究所	相澤 彰子	国立情報学研究所
出羽 達也	(株)東芝	石下 円香	国立情報学研究所
岩倉 友哉	(株)富士通研究所	海野 裕也	株式会社 Preferred Networks
内山 清子	湘南工科大学	岡崎 直観	東京工業大学
呉 鍾勲	情報通信研究機構	奥村 紀之	明石工業高等専門学校
後藤 功雄	NHK 放送技術研究所	乙武 北斗	福岡大学
小林 義行	(株)日立製作所	小磯 花絵	国立国語研究所
小町 守	首都大学東京	柴田 知秀	京都大学
相良 美織	株式会社バオバブ	鈴木 潤	NTT コミュニケーション科学 基礎研究所
高梨 克也	京都大学	高橋 雅仁	久留米工業大学
高村 大也	東京工業大学	田村 晃裕	愛媛大学
土屋 雅稔	豊橋技術科学大学	西崎 博光	山梨大学
西川 仁	東京工業大学	泓田 正雄	徳島大学
橋本 泰一	LINE 株式会社	藤田 篤	情報通信研究機構
東中 竜一郎	日本電信電話株式会社	プタシンスキ ミハウ	北見工業大学
村田 稔樹	沖電気工業株式会社	三浦 康秀	富士ゼロックス
		山崎 誠	国立国語研究所
計16名		計17名	